## 第42回宮城県高等学校放送コンテスト新人大会規定(実施要領)

令和 5年 9 月 11 日 宮城県高文連放送専門部

### 1. 目的

- (1) 校内放送に関する関心を高め、その技術向上を図る。
- (2) 作品や原稿の作成を通して自らの郷土を新たな視点で \*見つめ直すなど、校内放送の健全な育成と 21世紀を創る高校生の豊かな人間形成を目指す。

#### 2. 実施部門と出場者・出品数

Νο	部 門 名	各校出場者数・出品数
1	アナウンス部門(NHK杯規定,総文祭規定)	制限なし*
2	朗読部門(NHK杯規定,総文祭規定)	制限なし*
3	オーディオメッセージ(AM)部門	各校2作品以内
4	ビデオメッセージ (VM) 部門	各校2作品以内
5	ラジオキャンペーン(RC)部門	各校3作品以内
6	テレビキャンペーン (TC) 部門	各校3作品以内

<sup>\*</sup>同一生徒が、アナウンス部門と朗読部門双方にエントリーすることはできない。

## 3. 参加資格

県内各高等学校,特別支援学校高等部の1・2年生及び,中等教育学校後期課程の4・5年生。ただし,定時制課程の場合は,3年生までの参加を認める。

#### 4. 参加規定

本資料「第42回宮城県高等学校放送コンテスト新人大会規定(実施要領)」による。

### 5. 参加費

- (1) アナウンス部門, 朗読部門・・・・・・・ 800円/1名
- (2) オーディオメッセージ部門, ビデオメッセージ部門, ラジオキャンペーン部門, テレビキャンペーン部門・・・・・・・・・・・・1,400円/1作品

## 6. 大会日程及び会場等

期日	内容	会 場	備考
9月 11日 (月)	顧問・生徒代表者会議	仙台市立仙台商業高等学校	

10月 3日 (火)	参加申込・抽選会	宮城学院高等学校	
10月21日 (土)	アナウンス部門・朗読部門予選	宮城県仙台二華高等学校	限定公開
10月26日 (木)	番組作品受付	日立システムズホール仙台	
	ラジオキャンペーン (RC) 部門予選 テレビキャンペーン (TC) 部門予選	宮城学院高等学校	-1- \ \ HB
11月 1日(水)	オーディオメッセージ (AM) 部門予選	仙台白百合学園高等学校	非公開
	ビデオメッセージ (VM) 部門予選	宮城県仙台三桜高等学校	
11月 11日 (土)	全部門決勝大会	仙台白百合学園高等学校	限定公開

## 7. 参加申込およびアナウンス・朗読部門抽選

- (1) 日時 令和5年10月3日 (火) 15:00厳守 (※準備でき次第, 早めに受付のみ開始)
- (2) 会場 宮城学院高等学校(※抽選は、15:00以降に行う)
- (3) 提出物

#### ①参加申込書1部

(ア) 参加申込書(エクセルファイル形式)を、<u>宮城県放送専門部ホームページからダウンロード</u>して

おく。同ファイルは9月15日(金)頃にホームページ上にアップする予定。

宮城県高文連放送専門部HP: https://sites.google.com/site/mivagihousou/home

(イ) ダウンロードした参加申込書に必要事項を入力し、名簿係(多賀城高校 加美山先生)まで、 9月 28日 (木) 12:00までにメール添付にて送信する。

※名簿係のアドレスは、ファイル内に記載する。

- (ウ) 10月 3日 (火) 当日は、入力・印刷した参加申込書を1部持参すること。
- (エ)参加申込書提出後の記載内容の変更は、認めない。

#### ②参加費

③アナウンス部門・朗読部門:原稿を2部提出

原稿の提出がない場合は、エントリーは認めない。

#### (4) 留意点

- ①アナウンス部門及び朗読部門の出場順の抽選は、10月3日(火)の参加申込み終了直後に行う。
- ②10月 3日(火)当日に参加できない場合は,9月 28日(木)12:00までにメール添付にて参加申込書を送信するとともに,参加費を現金書留にて事務局に郵送する(入力した参加申込書同封)。アナウンス・朗読原稿についても,9月 28日(木)12:00必着で事務局に郵送のこと。なおこの場合,アナウンス部門及び朗読部門の出場順の抽選は,事務局が代行する。
- ③番組部門のみの参加の場合,参加費は10月3日(火)に会場まで参加申込書とともに持参するか,事 務局へ9月28日(木)12:00必着で現金書留にて郵送する(入力した参加申込書同封)。
- 8. アナウンス・朗読部門予選・・・・上履きを持参すること。
  - (1) 日時 令和 5年10月21日 (土)

- (2)会場 宮城県仙台二華高等学校
- (3) 日程

8:50 ~ 9:20 受付

9:30 ~ 9:50 開会行事

10:00 ~ 12:30 朗読部門審査

13:00 ~ アナウンス部門審査員打合せ

13:30 ~ 15:30 アナウンス部門審査

16:00 ~ 閉会行事(成績発表・諸連絡)

16:20 ~ 決勝大会抽選

- ※ スマホでの計時は不可(決勝大会も同様)
- ※ 結果はHPに掲載して報告する。

#### 10. 番組部門の作品受付

- (1) 日時 令和 5年10月26日 (木) 15:00~
- (2) 会場 日立システムズホール仙台
- (3) 持参するもの

## ①作品

審査用データUSB1本。複数の作品がある場合も部門ごとにフォルダーを作成し、1本に収める。 応募票を貼り付けた封筒に入れてくること。

## ②番組部門:番組進行表1部

提出する書類はチェック表を用いて必ず確認し,権利処理一覧表を必ず添付すること。また, 使用した全ての著作物の使用許諾を証明する文書も,添付のこと。

- ③著作物の使用に関する「録音物使用明細書(JASRAC)」(必要に応じて)
  - ※用紙は、JASRACのホームページからダウンロードすること。
  - ※番組部門は、番組進行表に添付して提出。
- ※上記①~③について、いずれも<u>提出時間を厳守すること。郵送等の場合は、10月25日(水)までに事務局必着とする。</u>

#### 【部門ファイル名】

オーディオメッセージ部門 AMO1作品名

ビデオメッセージ部門 VM01作品名

ラジオキャンペーン部門 RC01作品名

テレビキャンペーン部門 TC01作品名

## 11. 決勝大会

- (1) 日時 令和 5年11月11日(土)
- (2)会場:仙台白百合学園高等学校 仙台市泉区紫山1丁目2-1
- (3) 日程 9:00 ~ 9:20 受付

9:10 ~ 審査員打合せ

9:30 ~ 9:40 開会行事

9:50 ~ 10:40 アナウンス部門

10:55 ~ 11:45 朗読部門

12:45 ~ 13:45 ラジオキャンペーン部門・テレビキャンペーン部門

14:10 ~ 15:00 オーディオメッセージ部門

15:20 ~ 16:00 ビデオメッセージ部門

16:30 ~ 閉会行事

### 12. 審査

#### (1) 審査方法

- ①アナウンス部門及び朗読部門については、実演で審査する。
- ②番組(オーディオメッセージ・ビデオメッセージ・ラジオキャンペーン・テレビキャンペーン)部門については、提出されたメディアの再生で審査する。

## (2) 審査員

## ①予選審査

専門部常任委員及び県内高等学校放送部(委員会)顧問の中から、専門部長が委嘱する。

#### ②決勝審査

県内報道機関(放送局)の専門職及び、県内教育機関の教育職等から、専門部長が委嘱する。

## (3)審査基準

テーマ・内容・制作技術等の総合的判断によるが、校内放送であることを前提とする。

#### 13. 決勝進出及び表彰について

下表の通り。

No	部門	決勝進出	最優秀賞	優秀賞	優良賞	奨 励 賞	入 選
1	アナウンス	20 名 以内	1 名	2 名	9 名	8 名	若干
2	朗読	20 名 以内	1 名	2 名	9 名	8 名	若干
3	オーディオメッセージ	6作品以内	1作品	1作品	4作品	_	若干
4	ビデオメッセージ	6作品以内	1作品	1作品	4作品	_	若 干
5	ラジオキャンペーン	10作品以内	1作品	2作品	3作品	4作品	若干
6	テレビキャンペーン	10作品以内	1作品	2作品	3作品	4作品	若干

<sup>※</sup>キャンペーン部門については、指定のキーワード「シン」に沿って制作すること。

#### 14. 上位大会への推薦について

下表の通り。

No	部門	東北大会	全国総文祭
1	アナウンス	12名以内	3名以内(優秀賞以上)
2	朗読	12名以内	3名以内(優秀賞以上)
3	オーディオメッセージ	_	1作品以内(最優秀賞)

<sup>※</sup>予選通過者(作品)については速やかに該当校にFAXで通知するとともに、専門部Webページに掲示する。

4	ビデオメッセージ	_	2作品以内(優秀賞以上
			*)
5	ラジオキャンペーン	6作品以内*	_
6	テレビキャンペーン	6作品以内*	_

<sup>\*</sup>ビデオメッセージ部門の全国総文祭への推薦は、各校1作品までとする。

## 15. 各部門出品基準

## (1) アナウンス部門(NHK杯放送コンテスト規定)

テーマ・内容	自校のニュースや解説など高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限
	る。
規定時間	1分10秒以上1分30秒以内でアナウンスする。(エントリー番号及び氏名を含む。学校名は
	アナウンスしない)
原稿	①原稿は別紙様式1により作成し、 <u>参加申込の際に2部提出</u> する。
	②提出後の原稿の変更は認めない。
	③用紙は、「宮城県高文連放送専門部HP」からダウンロードして使用する。この用紙以外は
	認めない。
	④判型はA4二つ折り(袋とじ)で、2カ所を綴じ仕上がりをA5とする。
	⑤右下 ( ) にページ数を記入のこと。
	⑥規定の欄に <b>ア</b> 「NHK杯規定」と記入すること。

### (2) アナウンス部門(全国総合文化祭規定)

(2)))	
テーマ・内容	郷土(所属する学校のある都道府県内)の話題を全国の高校生に伝える内容の原稿を作成
	し、発表する。
規定時間	1分10秒以上1分30秒以内でアナウンスする。(エントリー番号及び氏名を含む。学校名は
	アナウンスしない)
原稿	アナウンス部門(NHK杯放送コンテスト規定)の原稿の項①~⑤に同じ。
	⑥規定の欄に <b>イ</b> 「総文祭規定」と記入すること。

## (3) 朗読部門(NHK杯放送コンテスト規定)

<sup>\*</sup>キャンペーン部門の東北大会への推薦は、各部門1校2作品までとする。

作品	第71回NHK杯全国放送コンテスト指定作品または、下記(5)を除く指定作品の作家の作品の		
	<u>中から1編を選び、朗読する</u> 。作品の改変は認めない。抽出は文頭から開始し、文末で終了		
	すること。なお下記①②は、選定した収録作品の各タイトルを作品名として読むこと。		
	<参考:第71回NHK杯全国高校放送コンテスト指定作品>		
	(1)「泥流地帯」 三浦綾子 著 (新潮文庫)		
	(2)「小さな幸せ46こ」 よしもとばなな 著 (中公文庫)		
	(3)「レキシントンの幽霊」 村上春樹 著 (文春文庫)		
	(4)「チップス先生、さようなら」 ジェイムズ・ヒルトン著 白井朗 訳 (新潮文		
	庫)		
	(5)「大鏡」 (出版社は問わない)		
	※電子書籍不可。抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中の開始や		
	終了は改変とみなす。文中の( )内も読むこと。 (読み仮名・訳者注を除く)		
	<u>`</u>		
規定時間	1分30秒以上2分以内。朗読のはじめにエントリー番号・氏名・作者名(訳者名は読まな		
	い)・作品名を読み、それらを含めて規定時間内におさめること。学校名はアナウンスしな		
	V'o		
原稿	アナウンス部門(NHK杯放送コンテスト規定)の原稿の項①~⑤に同じ。		
	⑥規定の欄に <b>ア</b> 「NHK杯規定」と記入すること。		
	なお上記指定作品(1)~(4)については、原稿表紙に抽出部分の開始ページを記入する。		

## (4) 朗読部門(全国総合文化祭規定)

( · ) / // AND FILE	1) (This had been a second of the second of
作品•内容	①郷土(所属する学校のある都道府県内)にゆかりのある作家または作品の中から原文のま
	まを一部選んで原稿とし、発表する。
規定時間	1分30秒以上2分以内。朗読のはじめにエントリー番号・氏名・作者名(訳者名は読まな
	い)・作品名を読み、それらを含めて規定時間内におさめること。学校名はアナウンスしな
	۱۷°
原稿	アナウンス部門(NHK杯放送コンテスト規定)の原稿の項①~⑤に同じ。
	⑥規定の欄に <b>イ</b> 「総文祭規定」と記入すること。

# (5)オーディオメッセージ部門

テーマ・内容	①郷土 (所属する学校のある都道府県内) に関する話題を全国の高校生に伝える内容の作品
	とする。ドキュメンタリー形式,ドラマ形式など手法は問わない。
	②タイトルの文字は第2水準の範囲内の全角15 文字相当以内とし,提出後のタイトル,内
	容の変更は認めない。
規定時間	発表時間は4分以内。

制作様式	①作品はMP3形式で作成し、データをUSBに入れて提出する。USBは封筒に入れ、別に定める
	様式3の応募票を貼付すること。
	②ステレオ音声で収録すること。
番組進行表	番組進行表については、表紙は別紙様式2-1,2ページ以降は様式2-2によるCUEシート,
	以下原則として様式2-3権利処理一覧,様式2-4音源使用許諾申請書,様式2-5取材許諾・著
	作物等ご提供のお願い,の順序にそろえて綴じる。著作物の許諾等については,第70回NH
	K杯放送コンテストの規定に従うこと。判型はA4 縦判・左上1カ所綴じとし、1部作成す
	る。
備考	作品の再生は主催者が行う。

# (6)ビデオメッセージ部門

テーマ・内容	①郷土(所属する学校のある都道府県内)に関する話題を全国の高校生に伝える内容の作品
	とする。ドキュメンタリー形式,ドラマ形式など手法は問わない。
	②タイトルの文字は第2水準の範囲内の全角15 文字相当以内とし,提出後のタイトル,内
	容の変更は認めない。
規定時間	発表時間は4分30秒以内。
制作様式	①作品はMP4形式(NTSC規格,アスペクト比は16:9, H. 264コーデック,HD画質以下【解像度
	1080[1920×1080]以下】SD画質も可。メニューは付けない)で作成し,データをUSBに入
	れて提出する。USBは封筒に入れ,別に定める様式3の応募票を貼付すること。
	②作品の前後に5秒ずつ、指定のテストパターンの静止画を入れること(カットイン・カッ
	トアウトで)。テストパターンは、この様式以外認めない。学校名を入れる等加工はせず
	,必ず静止画・無音とする。
	③著作権のある映像を使用した場合は、該当する画面上に出典をテロップで表示すること。
	<ul><li>④計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとす</li></ul>
	る。
	⑤テレビ放送番組などの再録を主体としたものは、認めない。
番組進行表	番組進行表については、オーディオメッセージ部門の項に準じる。
備考	作品の再生は、主催者が行う。

# (7) ラジオキャンペーン部門

テーマ・内容	1 キーワード「シン」を題材とした作品とする。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など
	手法は問わない。
	②タイトルの文字は第2水準の範囲内の全角15 文字相当以内とし、提出後のタイトル,内
	容の変更は認めない。
規定時間	発表時間は30 秒以上1分00 秒以内。

制作様式	①作品はMP3形式で作成し、データをUSBに入れて提出する。USBは封筒に入れ、別に定める
	様式の応募票を貼付すること。
	②最初に「ラジオキャンペーン部門」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち,3
	秒
	後に本編を開始する。
	③本編の最後の音から 3 秒後に,「制作は○○高等学校放送部(委員会)でした」のクレ
	ジッ
	トコールを入れる。クレジットコールには,BGM や効果音をつけないこと。
	⑤計時は本編の最初の音から、終わりのクレジットコールの「制作は○○高等学校放送部
	(委
	員会)でした」の「制作」の「せ」の音までとし,その計測値から3 秒を差し引いた値を
	もって再生時間とみなす。
番組進行表	番組進行表については、ビデオメッセージ部門に準じる。
備考	作品の再生は主催者が行う。

# (8) テレビキャンペーン部門

テーマ・内容	1 キーワード「シン」を題材とした作品とする。ドキュメンタリー形式,ドラマ形式など
	手法は問わない。
	②タイトルの文字は第2水準の範囲内の全角15 文字相当以内とし,提出後のタイトル,内
	容の変更は認めない。
規定時間	発表時間は30 秒以上1分00 秒以内。
制作様式	①作品はMP4形式(NTSC規格,アスペクト比は16:9, H. 264コーデック,HD画質以下【解像度
	1080[1920×1080]以下】SD画質も可。メニューは付けない)で作成し,データをUSBに入
	れて提出する。USBは封筒に入れ,別に定める様式の応募票を貼付すること。
	②作品の前後に5秒ずつ、指定のテストパターンの静止画を入れること(カットイン・カッ
	トアウトで)。テストパターンは,この様式以外認めない。学校名を入れる等加工はせず
	,必ず静止画・無音とする。
	③著作権のある映像を使用した場合は、該当する画面上に出典をテロップで表示すること。
	<ul><li>④計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとす</li></ul>
	る。
	⑤テレビ放送番組などの再録を主体としたものは,認めない。
	⑥本編の前後に 5 秒間ずつ,事務局提供のテストパターン(改変不可)を入れる。テスト
	パターンは無音とする。
	⑦計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの最初までとする。
番組進行表	番組進行表については、ビデオメッセージ部門に準じる。
備考	作品の再生は主催者が行う。

# 16. 大会参加にあたっての注意点

- (1) 応募規定を外れている作品は失格とし、審査の対象外とする。
- (2) 放送または公開する場合のことを考え、作品に使用した原作・音楽・写真・映像・新聞記事等の著作物についてはNHK杯規定(第70回大会要項号)に従い、必要な事項を様式2-3に明記すること。特にVM・TC各部門については、写真・映像・新聞等に関しての使用許諾を制作校の責任で確認し、使用した映像のテロップ表示等についても、著作権(または、使用権)所有者と十分打ち合わせること。著作権上・人権上の問題が発生した場合は審査の対象外となり、放送・公開されない場合があるので注意すること。
- (3)入選作品の著作権については、主催者に帰属する。ただし放送・公開・複製領布、その他の使用に際しては制作者側にその旨を連絡する。
- (4) 応募作品及び番組進行表のコピーを、手元に残しておくこと。

### 17. その他

- (1) 規定等に質問がある場合は、事務局に問い合わせて指示を得ること。問い合わせる場合は、緊急時を除きメールを用いることとし、連絡は必ず顧問を通して行うこと。
- (2) 大会の参加・出品等に関する各種様式は、宮城県高文連放送専門部のHPに9月15日(金)頃にアップする予定。その他、必要な連絡事項等を宮城県放送専門部のHPに随時掲載することがあるので、注意のこと。宮城県高文連放送専門部HP: https://sites.google.com/site/miyagihousou/home